

2011年12月期 決算説明会

株式会社スタジオアリス

東京証券取引所 市場第1部 <証券コード:2305>

2012年2月13日

東日本大震災に関して

【当社店舗への影響】

- ・68店舗が被災し、内57店舗が1ヶ月以内に撮影を含む営業再開。
- ・2011年8月12日、「仙台泉店」が「ヨークタウン市名坂店」として移転出店し、被災店舗全店が営業を再開。

【被災者の方々への支援活動】

◆ 罹災写真無償復元サービス

- ・実施期間：2011年4月26日(火)～12月22(木)
- ・総受付件数：2,706件

◆ 義援金の寄贈

- ・2011年4月に開催予定の「スタジオアリス女子オープン」を中止し、本大会のために用意しておりました賞金総額6,000万円を義援金として「日本赤十字社」を通じて寄贈いたしました。

2011年12月期 決算説明会

1. 2011年12月期 通期実績

2. 2011年12月期 通期の取り組み

3. 2012年12月期 通期予想

4. 2012年12月期 通期の取り組み

連結 損益計算書（通期実績）

（単位：百万円）

	2010/12 実績	2011/12 実績	対前年同期増減	
			金額	率
売上高	32,840	34,107	1,267	3.9%
売上総利益	11,280	11,911	630	5.6%
販管費	6,495	6,013	△482	△7.4%
営業利益	4,784	5,897	1,113	23.3%
経常利益	4,650	5,855	1,205	25.9%
当期純利益	1,206	2,680	1,474	約2.2倍

- 売上高は、当社単体の大幅な増収により、前年同期実績を大きく上回る。
- 営業利益、経常利益、当期純利益とも、当社単体の増益、および、婚礼用ドレス事業の廃止による費用の減少等により、大幅な増益となる。

セグメント業績（通期実績）

（単位：百万円）

	2010/12 実績	2011/12 実績	対前年同期増減	
			金額	率
売上高	32,840	34,107	1,267	3.9%
こども写真事業	31,023	33,453	2,429	7.8%
衣装製造卸売事業	1,816	654	△1,161	△64.0%
営業利益	4,784	5,897	1,113	23.3%
こども写真事業	5,041	5,832	790	15.7%
衣装製造卸売事業	△108	219	327	-
（消去又は全社）	△148	△153	△5	-

■こども写真事業は、当社単体の増収増益により、前年実績を大きく上回る。

■衣装製造卸売事業は、婚礼用ドレス事業の廃止により売上高は減少するも、当該事業に関わる費用計上がほぼなくなったことに加え、(株)豊匠の連結化により黒字化。

連結 営業利益の主な増加要因（対前年度）

■売上総利益の増加〔630百万円増〕

(1) 売上高の増加〔1,267百万円増〕

- ・当社単体の売上増 2,282百万円（直営既存店前年比:105.5%）
- ・(株)JVISの売上増 147百万円
- ・(株)豊匠の連結化に伴う売上増 176百万円
- ・婚礼用ドレス事業の廃止に伴う売上減 Δ 1,339百万円

(2) 売上原価の低減〔前年度原価率 65.7% → 今年度原価率 65.1% (Δ 0.6%)〕

- ・当社単体における、固定経費の減少等による原価率の低減(Δ 2.5%)

■販管費の減少〔 Δ 482百万円〕

- ・婚礼用ドレス事業の廃止したことによる販促費、人件費等の減少 約 Δ 1,060百万円
- ・当社単体の広告宣伝・販促費や諸経費の増加 約560百万円

連結 特別損失、投資額、減価償却費（通期実績）

■ 特別損失：907百万円

〔内容〕 資産除去債務関連 249百万円、 災害損失 65百万円、
店舗移転等による廃却損 157百万円、 店舗の減損 54百万円、
固定資産売却損 54百万円、 関係会社整理損 146百万円、
関係会社整理損失引当金繰入額 181百万円

■ 設備投資額：2,867百万円（通期計画:3,300百万円）

〔内容〕 新店、移転、改装等 1,030百万円、 機材、設備 130百万円、
システム関連 500百万円、 衣装・小物・・・1,200百万円

■ 減価償却費：2,551百万円（通期計画:3,050百万円）

単体 損益計算書（通期実績）

（単位：百万円）

	2010/12 実績	2011/12 実績	対前年同期増減	
			金額	率
売上高	30,675	32,958	2,282	7.4%
売上総利益	8,180	9,611	1,430	17.5%
販管費	4,827	5,386	558	11.6%
営業利益	3,353	4,225	871	26.0%
経常利益	3,296	4,196	900	27.3%
当期純利益	1,474	1,864	389	26.4%

■売上高は、七五三着物のレンタル施策により七五三撮影が大きく伸びたことや、お誕生日撮影が2010年度に引き続き伸びたこと等により大幅な増収となる。

■各利益は、大幅な増収および売上原価率の減少により増益となる。

2011年12月期 決算説明会

1. 2011年12月期 通期実績

2. 2011年12月期 通期の取り組み

3. 2012年12月期 通期予想

4. 2012年12月期 通期の取り組み

2011年12月期 通期の取り組み

経営方針

圧倒的な差別化への加速 ～ お客様に選ばれるお店を目指して

- 商品力(撮影品質、技術力、商品開発力)の向上
- 「良いイメージ」の向上
- 新業態店舗の事業モデルの確立と出店
- 事業環境に対応した最適な収益モデルの創造
- 経営基盤の整備
- **七五三撮影の更なる平準化の推進**
- **新規顧客の獲得**
- **地域一番店になるための競合店対策の推進**

※ 下線は、中長期的に取り組んでいる政策であり、2012年度も継続してまいります。

■ 経営政策

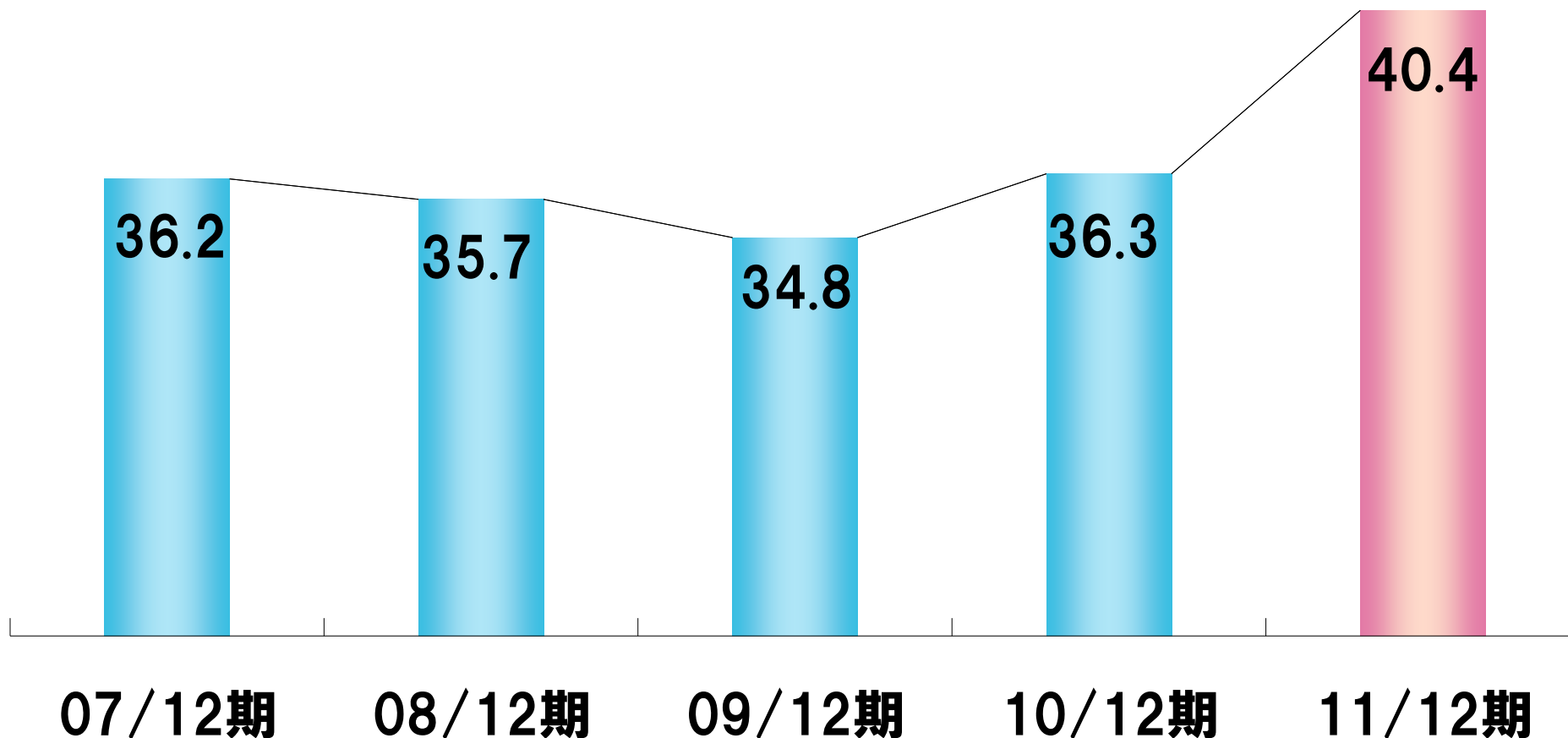
七五三撮影の更なる平準化の推進

七五三お出かけ着物レンタル施策の実施等により、七五三のピーク月(10、11月)以外の月の撮影件数を大幅に伸ばし、かつ、レンタル件数も大幅に伸ばす。

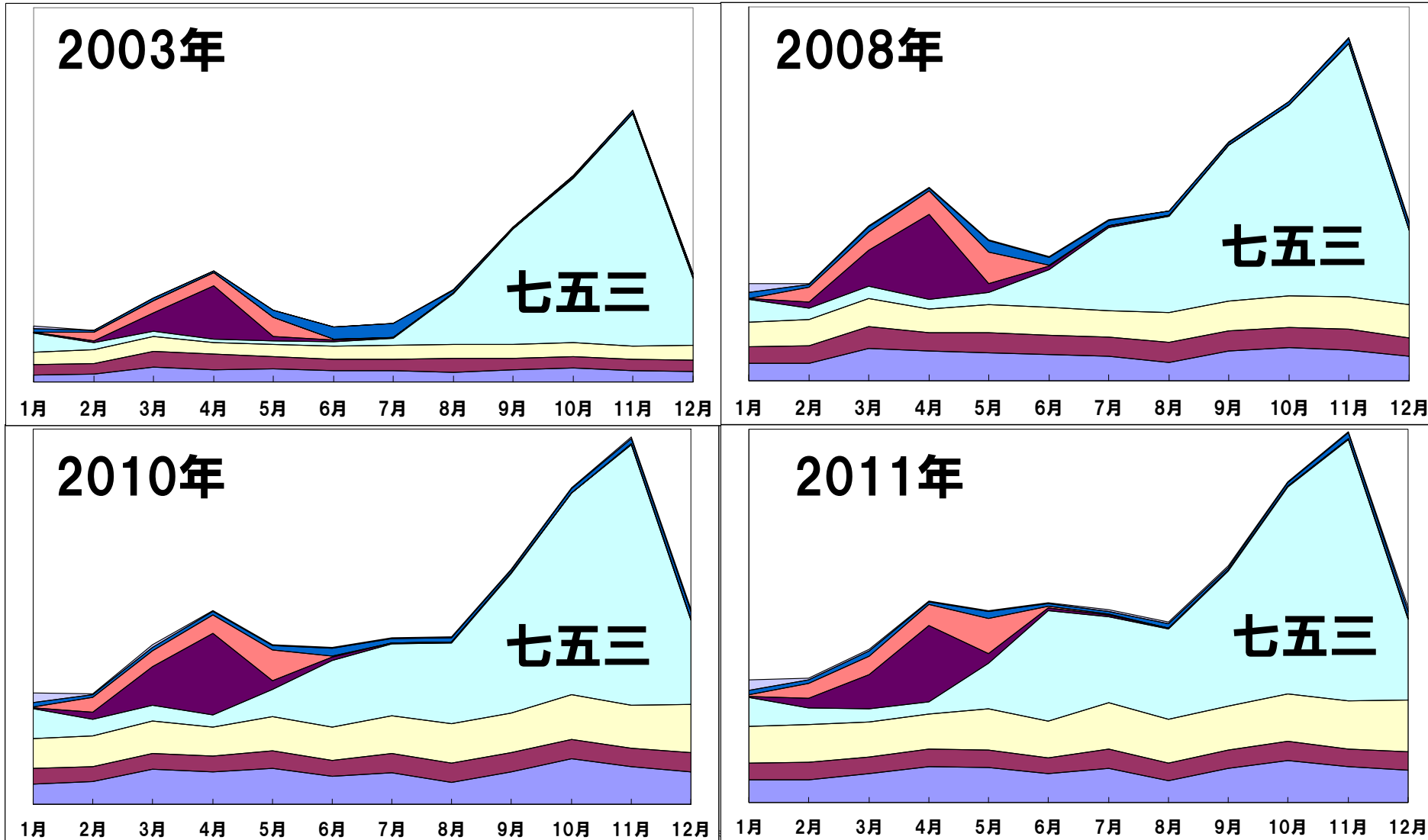
- ・早撮り七五三(5月～9月)の件数前年比・・・132.6%
- ・着物レンタルの実施件数前年比・・・158.4%
- ・レンタル受付件数に対する七五三撮影件数比率
 ……2010/12期:26.6% ⇒ 2011/12期:37.2%
- ・レンタル施策の実施による営業利益へのインパクト
 ……2010/12期より約290百万円の増加

七五三撮影件数の推移(全店)

(単位:万件)



月別撮影項目別売上高の変遷



には、通常予測し得ない事象・事柄の発生により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを言っております。したがって、本資料記載のデータに全面的に依拠して判断されることはくれぐれもお控えになられますようお願い致します。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社スタジオアリスに属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

■ 経営政策

新規顧客の獲得

- ・「アリスデビュー」および連続来店化施策の継続実施

- ・当社店舗主催のマタニティセミナーの開催

- ・当社店舗主催のマタニティセミナー

- ・・・154店舗で、のべ234回開催

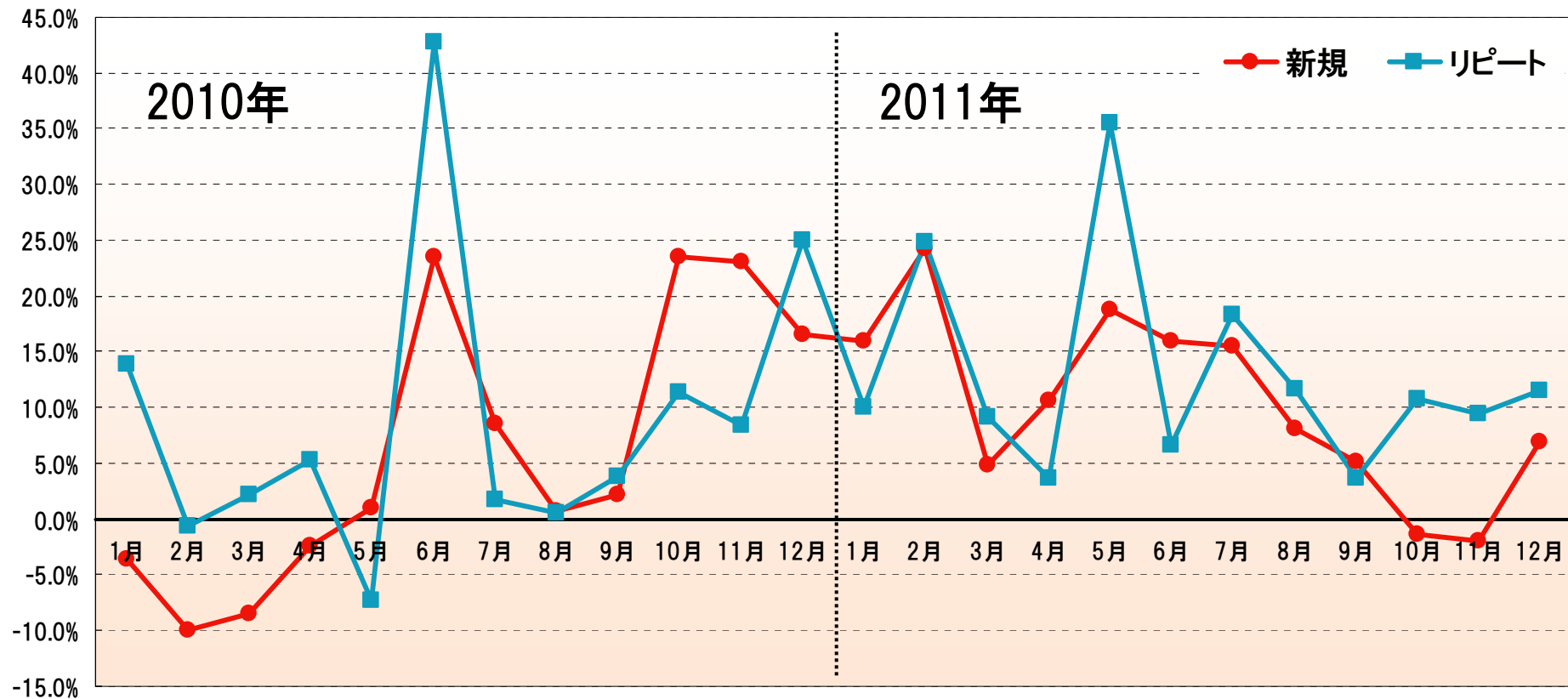
- ・赤ちゃん撮影の件数前年比・・・108.0%

- ※赤ちゃん撮影：お宮参り、お食い初め(百日)、ハーフバースデー、初節句

- ・新規顧客件数前年比・・・106.9%

- ・リピート顧客件数前年比・・・111.5%

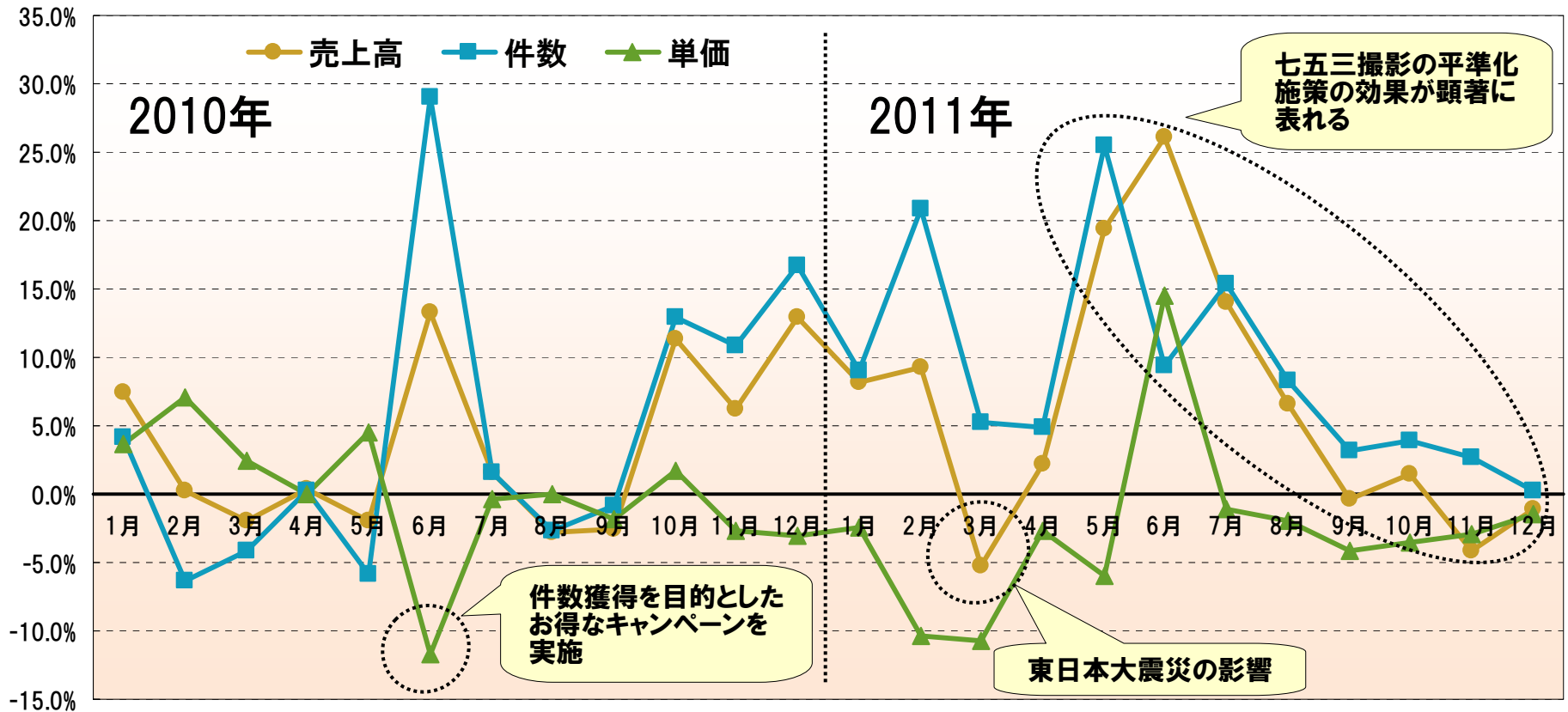
FC含む全店の新規、リピート顧客件数の前年同月比



■ **新規顧客**：毎月の「アリスデビュー」や各店舗主催のマタニティセミナーの実施等により、概ね順調に推移。

■ **リピート顧客**：オンリーワン戦略の着実な遂行と連続来店化施策により堅調に推移。

FC含む既存店の売上高・件数・単価の前年同月比



■お客様に選んでいただけるお店作りを目指したオンリーワン戦略をベースに、お誕生日、お宮参り撮影等の通年撮影項目の推進や、着物レンタル施策による七五三撮影の更なる平準化への取り組みが奏功し順調に推移。

全撮影件数の月別構成比の推移

(単位:%)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上期
09/12期	5.1	5.6	7.9	9.4	8.2	6.0	42.3
10/12期	5.0	4.9	7.1	8.9	7.3	7.5	40.7
11/12期	5.1	5.6	7.0	8.6	8.5	7.6	42.5

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下期
09/12期	7.2	7.6	9.6	11.4	14.1	7.8	57.7
10/12期	7.0	7.1	9.2	12.3	15.0	8.8	59.3
11/12期	7.4	7.1	8.8	11.8	14.2	8.2	57.5

撮影項目別売上高実績(直営全店)

(単位:百万円)

		七五三	誕生日	お宮参り	お食い 初め	入園 入学	節句	記念	成人	その他	合計
10/12期 通期	実績	11,898	5,229	4,444	2,504	1,691	978	658	281	2,847	30,530
	構成比	39.0%	17.1%	14.6%	8.2%	5.5%	3.2%	2.2%	0.9%	9.3%	100.0%
11/12期 通期	実績	13,086	6,032	4,518	2,528	1,663	1,112	649	327	2,928	32,843
	構成比	39.8%	18.4%	13.8%	7.7%	5.1%	3.4%	2.0%	1.0%	8.9%	100.0%
	構成比 の増減	+0.8%	+1.3%	△0.8%	△0.5%	△0.4%	+0.2%	△0.2%	+0.1%	△0.4%	***
	前年 実績比	110.0%	115.4%	101.7%	100.9%	98.4%	113.6%	98.6%	116.5%	102.9%	107.6%

■七五三：七五三お出かけ着物レンタル施策が奏功し、前年実績を1,200百万円弱上回る。

■お誕生日：連続来店化施策の効果もあり、前年実績を約800百万円上回る。

■入園入学：東日本大震災の影響により、前年実績を30百万円弱下回る。

新店、移転出店実績

	上半期出店数 (店)	下半期出店数 (店)	通期出店数 (店)
フリースタANDING (内、LiPi店舗)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
ショッピングセンター (内、LiPi店舗)	7 (0)	11 (1)	18 (1)
トイザラス [ベビーザラス含む]	0	0	0
合 計 (内、LiPi店舗)	7 (0)	12 (1)	19 (1)

出店数には、移転に伴う出店数も含めております。

※退店は、移転による退店を除き1店舗実施。

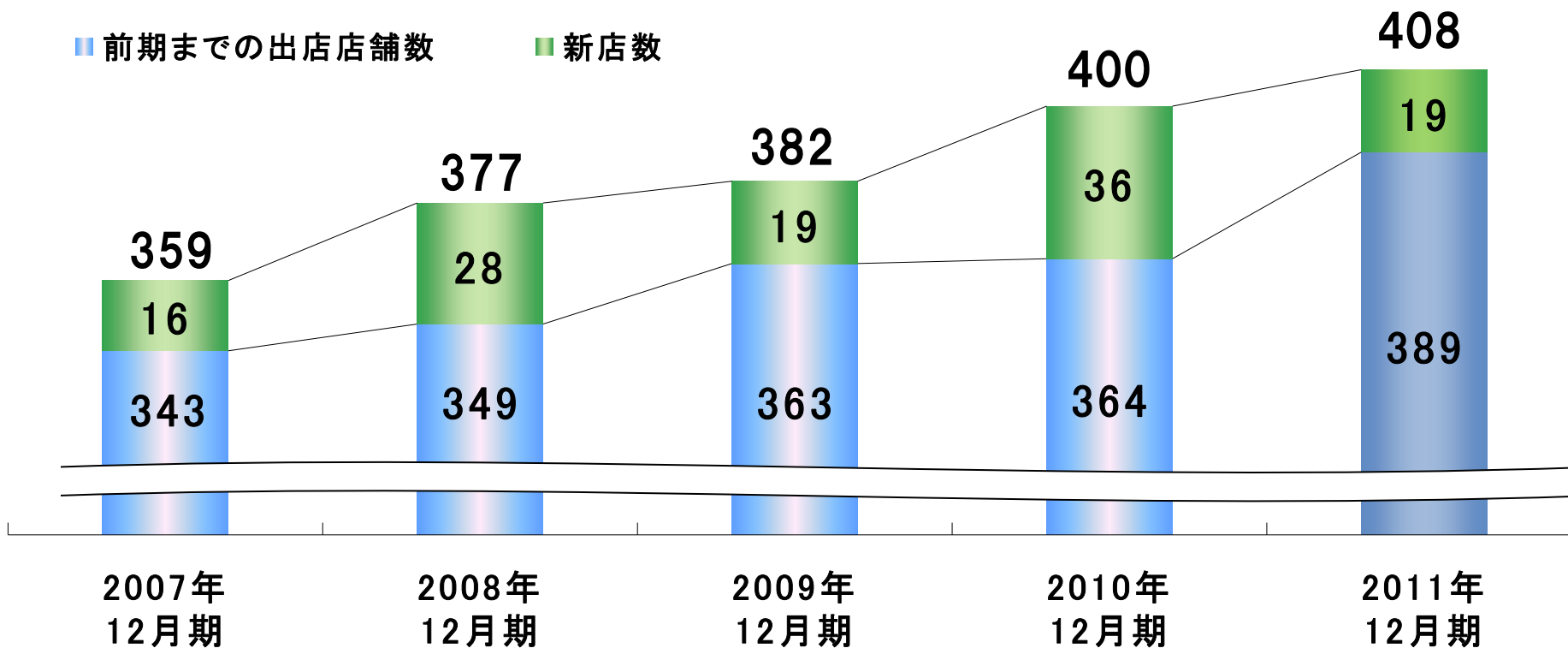
国内子ども写真館店舗数の推移

店舗数：**408**店舗（2011年12月末）

<直営店：398店舗、フランチャイズ店：10店舗>

■ 前期までの出店店舗数

■ 新店数



出店数には、移転に伴う出店数も含めております。

本資料は、株式会社スタジオアリスが独自に作成したものです。本資料に掲載されている業績予想、その他事項に関する情報は、本資料の作成時点において、株式会社スタジオアリスが合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測しうる範囲内で為した判断に基づくものであります。しかしながら、現実的には、通常予測し得ない事象・事情の発生により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。したがって、本資料記載のデータに全面的に依拠しご判断されることはくれぐれもお控えになられますようお願い致します。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社スタジオアリスに属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

店舗改装実績

	上半期実施数 (店)	下半期実施数 (店)	通期実施数 (店)
フリースタANDING	26	10	36
ショッピングセンター	16	12	28
トイザラス [ベビーザラス含む]	2	3	5
合 計	44	25	69

改装店舗数には、ショッピングセンター内の区画移動、増床も含めております。

2011年12月期末時点の次世代型店舗数：326店舗

2011年12月期 決算説明会

1. 2011年12月期 通期実績

2. 2011年12月期 通期の取り組み

3. 2012年12月期 通期予想

4. 2012年12月期 通期の取り組み

2012年12月期 連結通期予想

	2012/12 予想 (百万円)	2011/12 実績 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率
売上高	35,540	34,107	1,432	4.2%
営業利益	5,950	5,897	52	0.9%
経常利益	5,800	5,855	△55	△0.9%
当期純利益	2,820	2,680	139	5.2%

本資料は、株式会社スタジオアリスが独自に作成したものです。本資料に掲載されている業績予想、その他事項に関する情報は、本資料の作成時点において、株式会社スタジオアリスが合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測しうる範囲内で為した判断に基づくものであります。しかしながら、現実的には、通常予測し得ない事象・事情の発生により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。したがって、本資料記載のデータに全面的に依拠しご判断されることはくれぐれもお控えになられますようお願い致します。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社スタジオアリスに属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

連結 通期予想のポイント

■売上高〔35,540百万円(前年同期比:+4.2%)〕

- ・当社単体・・・既存店売上高前年比：102.2%
新規出店(純粋新店)：25店
- ・婚礼用ドレス事業の廃止に伴う売上減・・・△450百万円

■営業利益〔5,950百万円(前年同期比:+0.9%)〕

- ・当社単体において新規事業関連の費用を計上したことにより販管費が増加

■経常利益〔5,800百万円(前年同期比:△0.9%)〕

- ・子会社における生産拠点の再構築により営業外費用が増加

■当期純利益〔2,820百万円(前年同期比:+5.2%)〕

- ・特別損失の減少(約600百万円)

2012年12月期 連結 設備投資、減価償却費計画

	2012/12 計画 (百万円)	2011/12 実績 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率
設備投資	5,000	2,867	2,133	74.4%
減価償却費	3,300	2,551	748	29.4%

■設備投資額の増加要因

- ① 新業態店舗を含む新規出店および改装店舗の増加（約700百万円）
 - ・新規出店 35店(純粹新店 25店、移転 10店)
 - ・店舗改装 77店
- ② システム投資の増加（約600百万円）
- ③ 生産設備等の増強（約600百万円）

【ご参考】2012年12月期 単体 通期計画

	2012/12 計画 (百万円)	2011/12 実績 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率
売上高	34,830	32,958	1,871	5.7%
営業利益	4,400	4,225	174	4.1%
経常利益	4,355	4,196	158	3.8%
当期純利益	2,075	1,864	210	11.3%

2011年12月期 決算説明会

1. 2011年12月期 通期実績

2. 2011年12月期 通期の取り組み

3. 2012年12月期 通期予想

4. 2012年12月期 通期の取り組み

2012年12月期 通期の取り組み

経営方針

「持続可能な成長構造への第一歩」

- こども写真市場における需要とシェアの拡大
- 商品力(撮影品質、技術力、商品開発力)の向上
- 「良いイメージ」の向上
- 事業環境に対応した最適な収益モデルの創造
- 新業態店舗の事業モデルの確立と出店
- 経営基盤の整備